



三方よし

藤枝市立藤枝中央小学校

ちょっとしたことですが・・・

校長 新村和彦

87歳の母親のもとに、友だちから電話がかかってきました。用件は、「魚をもらったから届けるよ。」という内容でした。しかし、母親はもらう側なので、こちらが取りに行くことになったのです。（もちろん、運転手は私なのですが・・・。）



母親が魚をもらいにその方の家にいる間、私は、家の前に車を止めて待っていました。すると、前方から車が来たのですが、道幅が狭かったためか、運転手（女性）さんは、意外とすれ違うのが大変そうでした。私は、迷惑をかけてしまったという思いから、すれ違う時に頭をぺこりと下げました。すると、運転手さんも頭を下げてくださいました。しかも笑顔で・・・。「そんな所に車を止めて、通行の邪魔でしょ。」と言われても仕方がない場面です。しかし、運転手さんは、笑顔で頭を下げてくださいました。ちょっとしたことかもしれませんが、なかなかできることではないなと思いました。「自分だったら、あの運転手さんみたいに、にっこり笑顔で頭を下げることができるだろうか？」と考えてしまいました。

ところで・・・

- ・道を譲ってあげた時に、相手がハザードを出して、ありがとうの気持ちを示さなかったら、「せっかく譲ってあげたのに・・・。」と思いますか？
- ・・・・お礼を言われたくて譲った訳ではありませんが、私は、そうってしまうときが結構あります。（恥）



道を譲った相手が、ハザードを出さないからって、むっとしているようでは、前述の運転手さんみたいには、にっこり笑顔で頭を下げることもなんかできそうもありませんよね。例え、頭を下げることはできても、やっぱり笑顔までは難しいのではないかと思います。

ある昼休み、6年生の2人の女の子が、「こんにちは」とあいさつをして校長室の前を通り過ぎました。校長室の前を通るときに、あいさつをする子どもは、今までいなかったもので、とても嬉しくなりました。

「こんにちは」の一言も、道を譲ってもらったときのハザードも、軽く頭を下げる行為も、にこっとした笑顔もちょっとしたことなのですが、相手に対して安心感や心地よさを与えているはずで。

運転手さんの行為から、「ちょっとしたこと」を、いつも意識して生活していきたいと反省した出来事でした。